

地域学習副読本

亀山にまつわる人・もの・こと



亀山市教育委員会

亀山にまつわる
人・もの・こと

全学年共通

記念物・民俗

Ⅰ 井田川茶臼山古墳

21 関の山車

伝承

- 2 ヤマトタケルと能褒野
3 三重の地名の由来
4 ヤマトヒメと亀山の地名の由来
5 オトタチバナヒメと忍山神社
10 白鷹城
11 峯城とガモジ

9 神田五太夫と奈良の大仏

自然

14 大洪水のはなし

- 15 前田十三割
16 坂本の棚田
17 河川改修と新田開発
18 大地震の話
19 大火事の話

歴史

- 6 鈴鹿関と古代三関
22 亀山藩御流儀心形刀流武芸形
25 服部四郎と亀山の言葉
26 亀山の列車銃撃
27 衣笠貞之助
29 亀山市の誕生

- 12 亀山宿・関宿・坂下宿・加太宿
28 坂下尋常高等小学校・白川小学校

美術工芸・文学

- 7 三重県で一番古い石塔
30 中村晋也
8 昼生の人が天狗に出会った話
23 江戸川乱歩と亀山
24 志賀直哉と亀山

13 太岡寺囃

中3

中2

中1

小6

小5

小4

小3

小2

小1

い だ が わ ち ゃ う す や ま こ ふ ん
井田川茶臼山古墳

時代	分類	人物	校区	参考資料など
古墳	記念物		井田川小学校	亀山の古墳

こ じ ゃ
事柄

げんざい ちやう よこあなしきせきしつ こふん じゅうたくだん ち はつ
現在のみどり町にあった横穴式石室をもつ古墳です。住宅団地をつくるために発
くつちょうさ おこな せきしつ なか かがみ かな うま と つ きぐ み
掘調査が行われ、石室の中から、鏡や刀、馬に取り付ける器具などがたくさん見つ
かり、みえけん だいひやう こふん ひと
り、三重県を代表する古墳の一つとされています。

ざんねん こふん こわ げんざい せきしつ つか いし いちぶ こふんこう
残念ながら古墳は壊されてしまい、現在は石室に使われていた石の一部が古墳公
えん つきやま なか れきしはくぶつかんてんじしつ せきしつ いちぶ げんすんだい
園の築山の中にうめこまれています。歴史博物館展示室には、石室の一部を原寸大
でふくげん もけい お
で復元した模型が置かれています。

写真・地図



こふんこうえん
古墳公園



せきしつもけい
石室模型



Map data©2021 Google

や ま と た け る の ぼ の
ヤマトタケルと能褒野

時代	ぶんるい 分類	人物	校区	さんこうしりょう 参考資料など
こだい 古代	でんしょう 伝承	ヤマトタケル	かわさきしょうがっこう 川崎小学校	ヤマトタケルと能褒野

ことがら
事柄

ヤマトタケルは、古事記と日本書紀などに記された古代の皇子で、元の名はオウスといいます。父である景行天皇の命を受けて、西日本や九州などを巡り、天皇にしたがわないものと戦いました。その時、戦った相手から、日本で一番強い人を意味する「ヤマトタケル」の名をおくられました。戦いが終わって都にもどるとすぐに東日本で天皇にしたがわないものと戦うように命じられ、戦いの旅に出ます。

その帰りに伊吹山の神のいかりにふれ、重い病気にかかって能褒野までたどり着
きましたが、ついに亡くなってその地に墓が築かれたとされています。このお墓と
されるのが、田村町にある能褒野御墓で、市内で一番大きい古墳です。

写真・地図



やまとたけるのみことのぼののはかようはいじょ
日本武尊能褒野墓遥拝所



三重の地名の由来

時代	分類	人物	校区	参考資料など
古代	伝承	ヤマトタケル		古事記

事柄

古事記によると、伊吹山の神のいかりにふれて重い病氣となったヤマトタケルは、ふるさとの大和をめざして、今の四日市市のあたりにたどり着きました。その時、ヤマトタケルは、「わたしの足は三重に折れ曲がったように（三重の勾）なってしまった、大変疲れた。」と言われました。このため、そのあたりのことを「三重」と呼ぶようになりました。

写真・地図



つえつきざか よっかいちし うねめちよう
杖衝坂（四日市市采女町）



Map data©2021 Google

やま と ひ め かめ やま ち め い ゆ ら い ヤマトヒメと亀山の地名の由来

時代	分類	人物	校区	参考資料など
こだい 古代	でんしょう 伝承	ヤマトヒメ	かめやまにししょうがっこう 亀山西小学校	ヤマトヒメ

ことがら 事柄

ヤマトヒメはヤマトタケルのおばにあたります。垂仁天皇の命を受けて、アマテラスオオミカミをまつる場所を探して各地を旅しました。その時、「鈴鹿小山宮」に半年間とどまり、その後、現在の伊勢神宮内宮にまつる場所を決めました。この「鈴鹿小山宮」のあった場所が、現在の愛宕山（野村1丁目）とされ、そこに忍山神社がまつられたことから、この山を「かみやま」とよぶようになったとされています。この「かみやま」がなまって亀山とよぶようになったと伝えられています。このほかにも亀山の地名の由来となった説はいくつかありますが、はっきりしたことはわかっていません。

写真・地図



すずかおやまのみやきゅうせき おしやまじんじゃ
鈴鹿小山宮旧跡（忍山神社）



オトタチバナヒメと忍山神社

時代	分類	人物	校区	参考資料など
古代	伝承	オトタチバナヒメ	かめやまにししょうがっこう 亀山西小学校	オトタチバナヒメ

事柄

オトタチバナヒメは、ヤマトタケルのきさきです。ヤマトタケルが天皇にしたがわれないものと戦うために、東日本に向かう途中、現在の東京湾を渡る時に大嵐にまきこまれました。この時、オトタチバナヒメは、海の神のいかりをしずめるために海に身を投げてヤマトタケルを救いました。このオトタチバナヒメは、最初に忍山神社を建てたオオミナクチノスクネの子孫であるオシヤマノスクネのおすすめと伝えられています。

写真・地図



じんじょうしょうがく こくご どくほん
尋常小学国語読本



おしやまじんじゃ
忍山神社



Map data©2021 Google

鈴鹿関と古代三関

時代	分類	人物	校区	参考資料など
奈良	歴史	おおとものやかもち 大伴家持	せきしょうがっこう 関小学校	鈴鹿関跡

事柄

今から1300年ほど前、天皇のいる都からむほん人や犯罪者が逃げ出したり、都へ不審者が入らないように通行する人を監視したりするために関所が設けられました。この関所の中で特に大きい関所は今の亀山市、岐阜県関ヶ原町、福井県敦賀市に設けられ、それぞれ鈴鹿関、不破関、愛発関とよばれました。これらの関は古代三関と呼ばれ、天皇がなくなったり、大きな事件が起きたりしたときは門を閉じてすべての人が行き来できないようにしました。三関は789年に廃止され、関が亀山市のどこにあったのかは分からなくなっていました。2005年（平成17年）に関の跡が見つかりました。現在の関の地名はかつて鈴鹿関がおかれたことによるものです。

写真・地図



すずかのせきあと
鈴鹿関跡



Map data©2021 Google

三重県で一番古い石塔

時代	分類	人物	校区	参考資料など
へいあん 平安	びじゅつこうげい 美術工芸	そうとくじさんじゅうそうとう 宗徳寺三重層塔	ののぼりしょうがっこう 野登小学校	宗徳寺の三重石塔

ことがら 事柄

ふたおちょう た そうとくじ うらやま たか いし さんじゅうのとう いちばん
両尾町に建つ宗徳寺の裏山に、高さ2.3mの石でできた三重塔があります。一番
した そう めん いったい ぶつぞう う ぼ
下の層の4面それぞれに一体ずつ仏像が浮き彫りにされています。この塔は今から
800年ほど前に建てられたもので、石でできた塔としては三重県で一番古いものと
されています。2018年（平成30年）に三重県指定文化財となり、守られることになり
ました。

写真・地図



そうとくじ うらやま せきとう
宗徳寺の裏山の石塔



Map data©2021 Google

ひるおひとてんぐであはなし 昼生の人が天狗に出会った話

時代	ぶんるい 分類	人物	校区	さんこうしりょう 参考資料など
かまくら 鎌倉	ぶんがく 文学		ひるおしょうがっこう 昼生小学校	天狗に会った人の話

ことがら 事柄

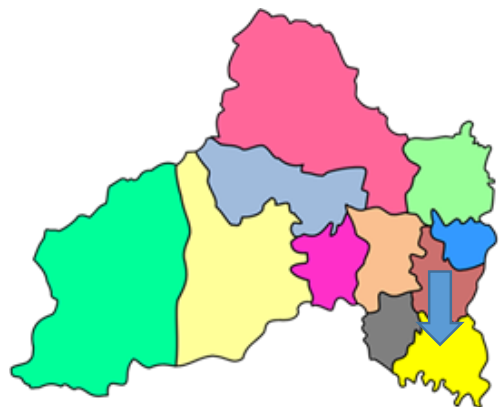
1254年に記された「古今著聞集」という本に、こんな話がのせられています。昼生（ひるお）の人が仕事で京都に出かけました。そこで同じ昼生（ひるお）の人とばったり出会いましたので、二人で京都めぐりをすることにしました。その帰り道、清水寺の近くまで来た時に、三人の怪しげな男（おとこ）たちに捕ま（つか）えられて、清水寺の鐘楼（かねろう）の屋根（やね）と天井板（てんじょういた）の間に吊（つ）り下げられてしまいました。この三人は天狗（てんぐ）だったようです。ようやく助（たす）けられた昼生（ひるお）の二人はその出来事（できごと）を寺（てら）の人（ひと）たちに話（はな）したということです。

写真・地図



げんざい ひるおちく

現在の昼生地区



神田五太夫と奈良の大仏

時代	分類	人物	校区	参考資料など
かまくら 鎌倉	でんしょう 伝承	かんだごだゆう 神田五太夫	かめやまにししょうがっこう 亀山西小学校	神田五太夫

事柄

1180年に奈良の東大寺は戦いに巻き込まれ火事にあい、銅でできた大仏の頭も焼け落ちました。そこで、天皇は中国からきた陳和卿と日本の鋳物師であった神田五太夫たちに大仏の修理を命じました。五太夫たちは1183年から1195年までかけて大仏を修理しました。神田五太夫はこのほうびとして1242年4月に、亀山に広い土地と日本鋳物頭の称号をもらいました。1274年に五太夫は109歳で亡くなり、東町法因寺には子孫が建てた墓があります。五太夫がもらった土地は現在の本町のあたりとされ、本町の一部をむかし「鍋町」とよんだのはこの名残と伝えられています。

写真・地図



かんだけ はか
神田家の墓



ひがしまちほういんじ
東町法因寺



はくたかじょう
白鷹城

時代	分類	人物	校区	参考資料など
むろまち 室町	でんしょう 伝承	あしかがよしはる 足利義晴	かぶとしょうがっこう 加太小学校	白鷹城

ことがら
事柄

かぶとじょうあと 鹿伏兎城跡は、JR加太駅北側の牛谷山の上にある城跡で、670年ほど前に鹿伏兎盛宗が築き代々鹿伏兎氏の城となつたとされています。500年ほど前に鹿伏兎定長が室町幕府第12代将軍足利義晴に白い鷹を献上したことから「白鷹城」と呼ばれるようになりました。現在、城跡には石垣や石組み井戸などが残されており、三重県史跡に指定されています。

写真・地図



かぶとじょうあと
鹿伏兎城跡



かぶとじょういしがき
鹿伏兎城石垣



峯城とガモジ

時代	分類	人物	校区	参考資料など
あづちももやま 安土桃山	でんしょう 伝承	がもうじさと 蒲生氏郷	かわさきしょうがっこう 川崎小学校	蒲生氏郷
				がもじがきた

ことがら 事柄

峯城は、川崎町柴崎と森の間の丘の上にある城です。城の大きさは東西約130m、南北約250mあり、三重県史跡に指定されています。もともとは峯という武士の城でしたが、1574年に峯氏が滅びると、岡本良勝が城主となりました。その後、敵にとられた城は、1583年に羽柴秀吉（のちの豊臣秀吉）に攻められましたが、3か月間守りぬいて名城とほめたたえられました。川崎や野登地区では、「おそろしいもの」「鬼のようなもの」のことを「ガモジ」「ガモンジ」「ガモジイ」という言葉が残っています。今でも子どもが言うことを聞かなかったときなどに「言うことを聞かないとガモジがくるぞ」などと使われています。この言葉は、峯城の戦いの時、城を攻める側として亀山市北部へ攻め込んで来た豊臣秀吉の命を受けた蒲生氏郷という武士の名前がなまったものではないかと言われています。

写真・地図



みねじょうあと
峯城跡



かめやましゆく せきじゆく さかしたしゆく かぶとしゆく 亀山宿・関宿・坂下宿・加太宿

時代	分類	人物	校区	参考資料など
えど 江戸	れきし 歴史		かめやまし かめやまひがし 亀山西・亀山東・ せき かぶとしょうがっこう 関・加太小学校	4つの宿場

ことがら 事柄

いま ねん まえ え とうきょう きょう おおさか きょうと おおさか むす みち とう
 今から150年ほど前まで、江戸（東京）と京・大坂（京都・大阪）を結ぶ道は東
 かいどう ひとびと い き とうかいどう まち うま はこ
 海道といわれ、たくさんの人々が行き来しました。東海道沿いの町には、馬が運
 にもつ う わたし ひと うま の か ばしよ やくわり ばくふ やくにん だいまよう
 でいた荷物の受け渡しや人が馬を乗り変えるための場所の役割、幕府の役人や大名
 とま ほんじん お やど やくわり あた しゆく やくわり にな しゆくば しゆくば
 が泊る本陣などを置く宿の役割が与えられました。宿の役割を担うまちを宿場とよ
 とうかいどう え とう きょうと あいだ しゆく え おおさか あいだ しゆく お
 び、東海道の江戸と京都の間には53宿、江戸と大坂の間には57宿が置かれました。
 しゆくば おこな ひと にもつ つぎ よ とうかいどう しゆくば
 宿場で行われていた、人や荷物のリレーを次とも呼びましたので、東海道の宿場が
 ごじゅうさんつぎ よ みえけんない ごじゅうさんつぎ くわな よっかい
 53あることを五十三次と呼びました。三重県内には、五十三次のうち、桑名・四日
 ち いしやくし しょうの かめやま せき さかした しゆく げんざい かめやまし ない かめやま
 市・石薬師・庄野・亀山・関・坂下の7宿があり、現在の亀山市内には、亀山から
 さかした しゆく しながわしゆく かぞ かめやま ばんめ せき ばんめ さかした ばん
 坂下の3宿があります。品川宿から数えて亀山は46番目、関は47番目、坂下は48番
 め しゆくば せき いがうえの なら みち やまとかいどう かぶ
 目の宿場となります。また、関から伊賀上野、奈良への道である大和街道には、加
 としゆく やまとかいどう いちば いたや かぶとしゆく よ
 太宿がおかれ、大和街道沿いの市場・板屋をまとめて加太宿と呼んでいました。

写真・地図



うたがわ ひろしげ とうかいどう ごじゅうさんつぎ の うち せきほんじん はやだち
 歌川広重「東海道五拾三次之内 関本陣早立」



たいこうじなわて
太岡寺暇

時代	ぶんるい 分類	人物	校区	さんこうしりょう 参考資料など
えど 江戸	ぶんがく 文学	まつおばしろう 松尾芭蕉	かんべしろうがっこう 神辺小学校	松尾芭蕉

ことがら
事柄

かんべしろうがっこう みなみがわ みち げんざい とうきょう えど きょう むす とうかいどう みち
神辺小学校の南側の道は、現在の東京（江戸）と京を結ぶ東海道という道でした。道がまっすぐになっているところを「暇」と呼びました。布気町落針から小野町までの約2キロメートルにわたる鈴鹿川の堤防の道を「太岡寺暇」といい、東海道で一番長い暇といわれています。むかしは松の並木が続いていましたが、現在は桜の並木に植えかえられています。松尾芭蕉とその弟子たちによる句集である「ひさご」には、ばしろう でし やけい よ から かせ たいこうじなわて ふきとう く
芭蕉の弟子の野径が詠んだ「から風の太岡寺縄手吹透し」の句のっています。

写真・地図



たいこうじなわて
太岡寺暇



だいこうずい 大洪水のはなし

時代	ぶんるい 分類	人物	校区	さんこうしりょう 参考資料など
えど 江戸	れきし 歴史		かめやまし ののぼり せき 亀山西・野登・関 しょうがっこう 小学校	大洪水の話

ことがら 事柄

1650年9月、長くふり続いた雨によってこの地域に大洪水がおきました。この洪水では鈴鹿峠のふもとにあった坂下宿がすべて流されてしまいました。このため、坂下宿全部を峠のふもとから現在の場所に移しました。また、亀山城では金蔵をはじめとして門や櫓などがくずれ、流されました。このほかにも堤防がくずれて、たくさんの家が被害を受けました。辺法寺町では、田んぼの下からこの洪水のときに押し流されてきた砂の層が厚さ2 mほども積もっていました。この砂の層の下にも洪水による砂の層がいくつもありましたので、おかしはたびたび洪水におそわれていたことがわかります。また、1974年の洪水では野登地区をはじめとして大きな被害が出ました。

写真・地図



あみなかいせき こうずいさそう
網中遺跡の洪水砂層



まえだじゅうさんわり
前田十三割

時代	ぶんるい 分類	人物	校区	さんこうしりょう 参考資料など
えど 江戸	れきし 歴史	さとうげんぞう 佐藤源蔵	ののぼりしょうがつこう 野登小学校	佐藤源蔵

ことがら
事柄

いままへ 今から200年ほど前の、へんぼうじむら（今のへんぼうじちょう 辺法寺町）のおおがねも 大金持ちであったさとうげんぞう 佐藤源蔵は、あんらくがわ 安楽川のなが 流れをまっすぐにして、もとのかわ 川のあとをつくりかえました。新しくひろ 拓かれたた 田は「まえだじゅうさんわり 前田十三割」とよばれました。また、むら 村の中のあ 荒れ地をひろ 拓いて広い田としました。これらのこうじ 工事のときは、たくさんのひと 人手が必要でしたので、むら 村の人々がひとびと 農作をするとき、ひと 人手のとりあひ 取り合いとなりましたが、た 田がひろ 広がったことでむら 村はゆた 豊かになりました。さとうげんぞう 佐藤源蔵は、1818年（ねん ねん）に102歳（さい さい）でなくなりましたが、そのしそん 子孫がた 建てたいしじぞう 石地蔵がへんぼうじちょう 辺法寺町のふどういん 不動院にのこ 残されています。

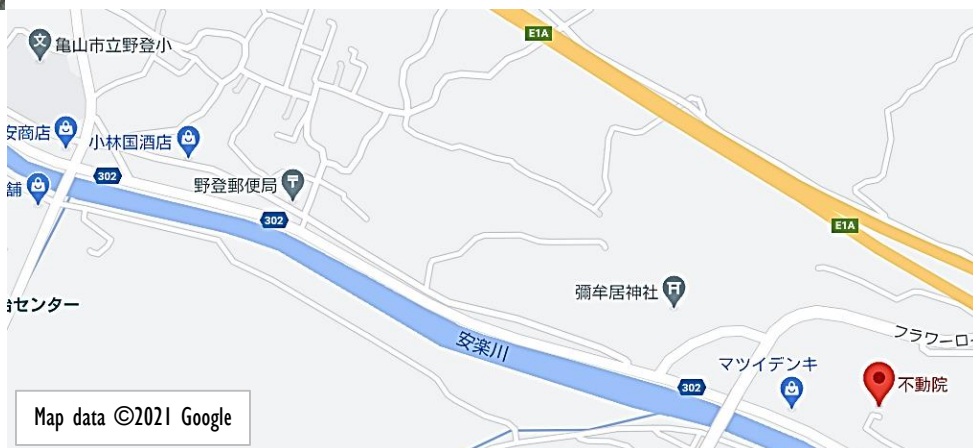
写真・地図



いしじぞう
石地蔵



へんぼうじふどういん
辺法寺不動院



さ か も と た な だ

さんこうしりょう
参考資料など

ことがら
事柄

「坂本の棚田」は、野登山の山裾の斜面に造られた約440枚の田です。棚田とは、山のゆるやかな斜面を利用して階段のようにつくられた田をいいます。棚田は、日本のみならず中国や東南アジアなど稲作を行う地域でもよく見られます。しかし、田の一枚ごとの面積が小さいため機械化が難しく、荒れた棚田も増えてきましたが、風景のよさや、水をたくわえたり、土が流れ出すのを防いだりする点で、再び見直されるようになりました。このため、1999年に国によって「日本の棚田百選」が定められ、国をあげて棚田を守っていくことになりました。三重県では熊野市紀和町の「丸山千枚田」と亀山市安坂山町の「坂本の棚田」が選ばれました。

写真・地図



さかもと たなだ
坂本の棚田

河川改修と新田開発

時代	分類	人物	校区	参考資料など
江戸	歴史	生田理左衛門	亀山西・井田川 しょうがっこう 小学校	江戸時代の河川改修の中心となった人物

事柄

生田理左衛門は、備中松山（現在の岡山県高梁市）生まれの武士です。岡山で土木を学び、1744年に殿さまの領地が亀山にかわったことからいっしょに亀山にきました。生田理左衛門は、鈴鹿川や椋川のようにすを調べて、これまで洪水に悩まされていた「野村町から山下町」や「川合町のあたり」の曲がっていた川の流れをまっすぐに変える計画をつくり、自分のお金をつぎこんで工事を行いました。この工事によって洪水の危険が少なくなるとともに、川のあとは田になりました。生田理左衛門は、1785年に73歳でなくなりました。今も御幸町の本久寺にお墓があります。

写真・地図



みゆきちょう ほんきゅうじ
御幸町の本久寺



大地震の話

時代	分類	人物	校区	参考資料など
江戸	歴史		市域全体	大地震の話

事柄

1704年に紀伊半島沖で巨大地震が発生しました。宝永地震とよばれるこの地震は静岡県から宮崎県にわたる広い範囲で津波や山くずれをおこし、記録がある中で最大の地震と言われています。この地震で加太では長い時間ゆれを感じ、神社や寺の石とうろうがたおれたり、山から石や土が落ちたりしてきました。また、1854年に立て続けに3つの地震が起きました。特に6月15日の伊賀上野地震では、亀山城の櫓や門、亀山のまちの多くの建物が倒れ死者も出ています。さらにこの5か月後の11月4日と5日には、東海地震と南海地震と呼ばれる大地震が起きています。これらの地震によって亀山は大きな被害を受け、その復興には長い時間がかかったようです。最近では、2007年におきた三重県中部地震で、亀山では震度5強を観測し、亀山城の石垣が崩れたり、関宿のまちなみの建物の多くに被害が出たりしました。

写真・地図



昭和に積まれた亀山城の石垣が崩落した様子

大火事の話

時代	分類	人物	校区	参考資料など
えど 江戸	れきし 歴史		せきしょうがっこう 関小学校	地震雷火事親父 3 番目に怖かった？ ～火事～

ことがら 事柄

むかしの建物は、木をたくさん用いていましたので、火事はたいへんこわいものでした。特に建物が集まっている町では、火事が出るとまわりの建物にも燃えうつっていきますので、大きな被害を受けることになりました。1663年、関宿で大きな火事がおこり105軒もの家が焼けました。この火事は味噌屋小三郎の家が火元となりましたので、「味噌屋火事」といわれています。また、1825年にも関宿で大きな火事があり、46軒もの家に被害が出ました。この火事は、真弓休四郎の家から出火しましたので「真弓火事」といわれています。このほかにも関宿では、たびたび火事の被害を受けています。亀山城下では、1725年の火事で亀山城や西町が焼けました。坂下宿でも1802年に大火事が起きています。

写真・地図



かんべ やました しょうぼうぐみしょうぼうしゅ はっぴ

「神辺山下消防組消防手」法被



Map data ©2021 Google

勧進橋

時代	分類	ジンプン 人物	コウク 校区	さんこうしりょう 参考資料など
えど 江戸	れきし 歴史	はっとりきちえもん 服部吉右衛門	せきしょうがっこう 関小学校	

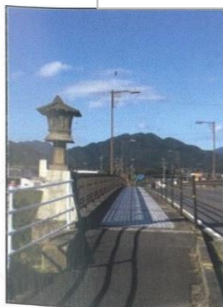
ことがら 事柄

関宿の東の追分から伊勢に向かう道を伊勢別街道と言います。伊勢別街道の鈴鹿川にかかる橋を勧進橋といいます。勧進とは、お寺や神社、道路や橋をつくったりなおしたりするために広くお金を集めることをいいます。鈴鹿川にかかる橋は、木でつくられていましたので洪水でたびたび流されました。このため、関宿の商人などが中心になって、流された橋をかけなおすお金をつみたてるために、橋を渡る人々からお金をもらって、集まったお金で1850年に橋をかけかえました。この橋も1875年に流されたため、2年後に新しくかけかえられましたが、その後も洪水で被害を受けましたので、1937年にコンクリート製の橋にかけかえられました。

写真・地図



ねん まえ かんじんばし
100年ぐらい前の勧進橋



げんざい かんじんばし
現在の勧進橋



Map data ©2021 Google

関の山車

時代	分類	人物	校区	参考資料など
江戸	民俗		関小学校	関のやま

事柄

山車とは、お祭りの時に神への供え物を積み上げたようすに見立てたつくりものです。これを車のついた台に乗せて、まちをひきまわせるようにしたものです。関宿の夏祭りに巡行する関の山車は、「山車」と書きますが、もともとの言い方であるヤマと呼んでいます。関の山車は200年ほど前には今と同じような形で巡行していたものとみられます。一番の特徴は、台から上の部分が回転することで、祭りの時には、交差点や広いところなどで舞台回しといっていきおいよく回転させます。現在は4台が残っていますが、かつては16台もの山車があり、もうこれ以上ふやせない、狭い関の町中をもう動けないことから、「せいいっぱい」のことを「関の山」というようになりました。

写真・地図



せき やま かいかん
関の山車会館

せき やま なかまちよんぱんちょう
関の山車（中町四番町）



Map data ©2021 Google

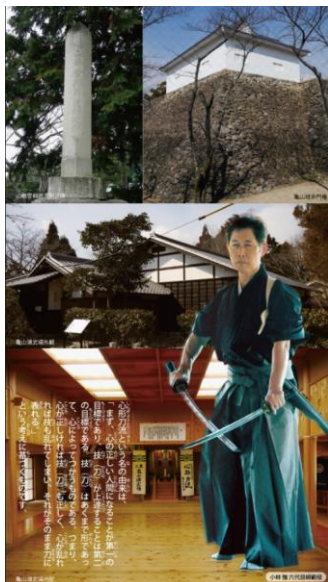
かめやまはんおんりゅうぎしんぎょうとうりゅうぶげいがた
亀山藩御流儀心形刀流武芸形

時代	分類	人物	校区	さんこうしりょう 参考資料など
えど 江戸	れきし 歴史	やまぎせつりゅうけん 山崎雪柳軒	かめやまにししょうがっこう 亀山西小学校	心形刀流武芸形

ことがら
事柄

しんぎょうとうりゅう ねん いばじょすいけん けんじゅつ りゅうは
 心形刀流は1682年に伊庭是水軒があみだした剣術の流派です。これまでのさまざま
 けんじゅつ わざ ひと せいちょう おも
 な剣術のよいところをとりいれ、技よりも人としての成長に重きをおいたことか
 こころ かたち かたな わざ しんぎょうとうりゅう な おお
 ら、心の形が刀の技にあらわれるとして心形刀流の名がつけられています。多くの
 ぶし けんじゅつ まな え どんだいどうじょう ひと かぞ かめやまはん
 武士がこの剣術を学んだことから、江戸四大道場の一つに数えられます。亀山藩の
 ぶし やまぎせつりゅうけん え どん しんぎょうとうりゅう まな かめやま かえ ねん どうじょう
 武士であった山崎雪柳軒は、江戸で心形刀流を学び、亀山に帰って1865年に道場を
 せつりつ しんぎょうとうりゅう かめやまはん ぶし まな けんじゅつ どうじょう かめやまえんぶじょう
 設立し、心形刀流は亀山藩の武士が学ぶ剣術とされました。道場の亀山演武場には、
 かめやまはん はん おお ぶし まな ぶし じだい
 亀山藩だけではなくほかの藩からも多くの武士が学びにきました。武士の時代
 おお けんじゅつ まな しんぎょうとうりゅう
 がおわると多くの剣術は学ぶものもいなくなりすたれていきましたが、心形刀流
 やまぎせつりゅうけん で し せつりつ せきしんかい どりよく げんざい ぜんこく かめやま
 は、山崎雪柳軒やその弟子が設立した赤心会の努力もあって、現在は、全国で亀山
 けいしょう ねん み え けんむけいぶんかざい してい
 にだけ継承されています。1975年に三重県無形文化財に指定されました。

写真・地図



三重県指定無形文化財
 かめやまはんおんりゅうぎ
亀山藩御流儀
 しんぎょうとうりゅうぶ
心形刀流武芸形
 がた



けいこ ふうけい かめやまえんぶじょう
稽古風景（亀山演武場）

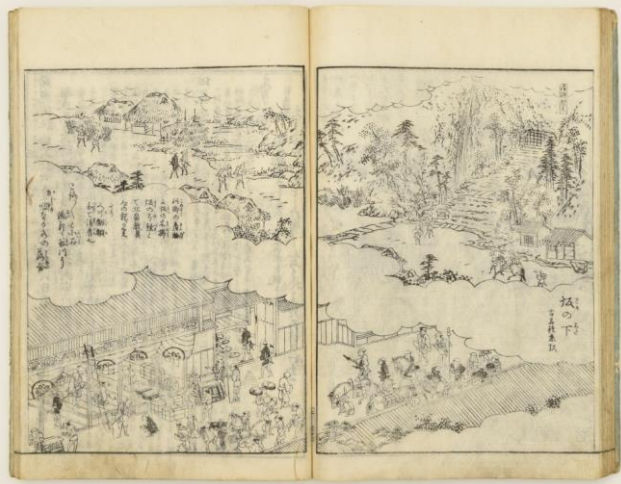
江戸川乱歩と亀山

時代	分類	人物	校区	参考資料など
きんだい 近代	れきし 歴史	えどがわらんぼ 江戸川乱歩	かめやまし 亀山西・関小学校	江戸川乱歩

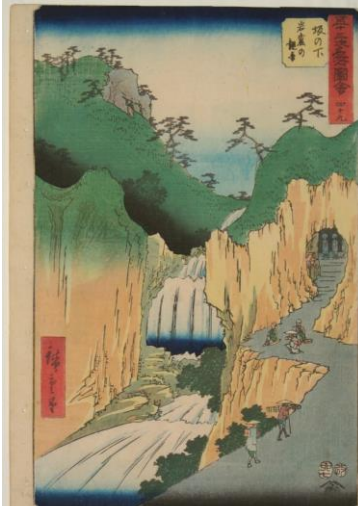
ことがら 事柄

わが国の代表的推理小説作家である江戸川乱歩（1894～1965）は、お父さんの仕事の都合で、幼い時の数年間、南崎町と市ヶ坂町に住んでいました。また、初期の代表作である「屋根裏の散歩者」は、関町坂下の「岩屋観音」で重い病気にかったお父さんの看病をしながら完成させました。

写真・地図

いせ さんぐうめいしょ ずえ さか した
伊勢参宮名所図会 坂の下



うたがわひろしげ ごじゅうさんつぎめいしょ ずえ しじゅうくさか した がんくつ かのん
歌川広重「五十三次名所図会四十九坂の下 岩窟の観音」

Map data ©2021 Google

志賀直哉と亀山

時代	分類	人物	校区	参考資料など
きんだい 近代	ぶんがく 文学	しが なお や 志賀直哉	かめやまにししょうがっこう 亀山西小学校	志賀直哉

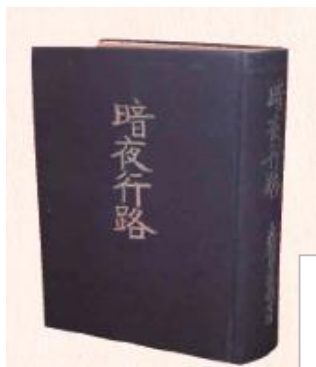
ことば 事柄

わが国の近代文学において「小説の神様」と称された志賀直哉（1883～1971）は、1921年から1937年にかけて長編小説の「暗夜行路」を執筆しました。この小説は志賀直哉の代表作のひとつで、直哉自身をモデルとしており、その中に自分のお母さんの生まれ故郷である亀山を訪れ、亀山城跡や亀山公園のあたりを歩いた時の様子が描かれています。

写真・地図



しが なお や
志賀直哉



あんなやこうろ
暗夜行路



服部四郎と亀山の言葉

時代	分類	人物	校区	参考資料など
きんだい 近代	れきし 歴史	はっとりしろ 服部四郎	かめやまし かめやまなみ 亀山西・亀山南 しょうがっこう 小学校	旧亀山市の名誉市民 第4号

事柄

はっとりしろ (1908～1995) は、ひがしまちう 東町生まれで、ことばのな た 成り立ちなどをけんきゅう 研究する言
ごがくしゃ 語学者です。にほんご 日本語やアジアのことばのつながりをけんきゅう 研究し、せかい 世界的なげんごがくしゃ 言語学者とし
て、1983年（昭和58年）ぶんかくんしょう 文化勲章を受章しました。ちい 小さいときから、おとう 父さんやお母
さんのつか 使うことばについてきょうみ 興味を持ち、てんじん やま 天神の山からかめやま 亀山のまちをなが 眺めたときにそ
こでさまざまなかたちでつか ことばが使われていることをおも 思い浮かべてげんごがく 言語学を学ぶこ
とをこころざ 志しました。子どもむ 向けに「きん 金とぎん 銀のさいころ」「もらわれていったくろ」と
いうおはなしもか 書いています。

写真・地図



はっとり しろ
服部四郎



はっとりしろ ふうふ とうきょうこうがいそかいちゅう いちまい
服部四郎・マヒラ夫婦 東京郊外疎開中の一枚



はっとりしょうてん
服部商店



はっとり しろ せい か あと かめやましひがしまち
服部四郎生家跡（亀山市東町）

かめやま れっしやじゅうげき
亀山の列車銃撃

時代	分類	人物	校区	参考資料など
きんだい 近代	れきし 歴史		かめやまみなみしょうがっこう 亀山南小学校	機関車襲撃

ことがら
事柄

1945年8月2日、日本がアメリカやイギリス、中国などと戦争をしていた時のことです。午後12時10分ごろ、鳥羽行きの列車が亀山駅を出発しました。この直後にアメリカ軍の飛行機が飛んできて走っている列車に機関銃を撃ってきました。この攻撃で機関車の運転士をはじめ列車に乗っていた40人以上が亡くなりました。この中にはお母さんにおんぶされた赤ちゃんもいました。列車が攻撃を受けた場所の近くに当たる天神町の中村公民館には、このできごとを忘れることのないように説明板が建てられています。

写真・地図



てんじんちょうなかむらこうみんかん
天神町中村公民館



きぬがさ ていのすけ
衣笠貞之助

時代	ぶんるい 分類	人物	校区	さんこうしりょう 参考資料など
きんだい 近代	れきし 歴史	きぬがさ ていのすけ 衣笠貞之助	かめやまひがししょうがっこう 亀山東小学校	旧亀山市の名誉市民 第3号

ことがら
事柄

きぬがさ ていのすけ (1896～1982 本名：小亀貞之助) は、東町（今の本町）生まれの映画監督です。幼いころから演劇に興味があり、若いころは女形の俳優となりました。その後、映画監督となり、100本を超える作品を生み出しました。1953年（昭和28年）に公開した「地獄門」は、翌年のカンヌ国際映画祭で日本人監督による作品として初めて最高賞を受賞し、世界的な映画監督の一人として高い評価を受けています。歴史博物館の前には記念碑が建てられています。

写真・地図



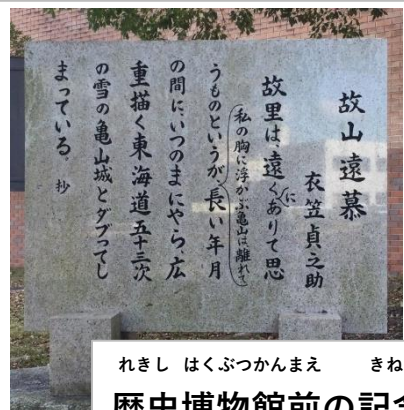
きぬがさ ていのすけ
衣笠貞之助



きぬがさ ていのすけ せい か あと かめやまし ほんまち
衣笠貞之助生家跡（亀山市本町）



きぬがさ ていのすけ
衣笠貞之助



れきし はくぶつかんまえ きねんひ
歴史博物館前の記念碑

さかし たじんじょうこうとうしょうがっこう しらかわしょうがっこう
坂下尋常高等小学校・白川小学校

時代	ぶんるい 分類	人物	校区	さんこうしりょう 参考資料など
きんだい 近代	れきし 歴史		せき しらかわしょうがっこう 関・白川小学校	白川小学校の歴史

ことがら
事柄

しらかわしょうがっこう ねん しょうわ ねん た もくぞう こうしゃ みなみがわ きたがわ
白川小学校は、1954年（昭和29年）に建てられた木造の校舎です。南側と北側
の2棟の校舎が並んでいます。みなみがわ とう ま なか げんかん
南側の棟の真ん中に玄関があります。

げんざい すず かとうげしぜん いえ つか たてもの きゅうさかし たじんじょうこうとうしょうがっこう こう
現在、鈴鹿峠自然の家として使われている建物は、旧坂下尋常高等小学校の校
舎として1938年（昭和13年）に建てられました。みなみがわ きたがわ とう こうしゃ なら
これを西側と東側の渡り廊下でつないでいます。

ふた こうしゃ た ねんいじょう がっこう たてもの なが ち い き した
二つの校舎は建てられて50年以上がたち、学校の建物として長らく地域に親し
まれてきましたので、くに とうろくぶんかざい たいせつ りょう
国の登録文化財として大切に利用しています。

写真・地図



しらかわしょうがっこう こうしゃ ろうか
白川小学校 校舎の廊下



きゅうさかし たしょうがっこうこうしゃ
旧坂下小学校校舎



Map data ©2021 Google

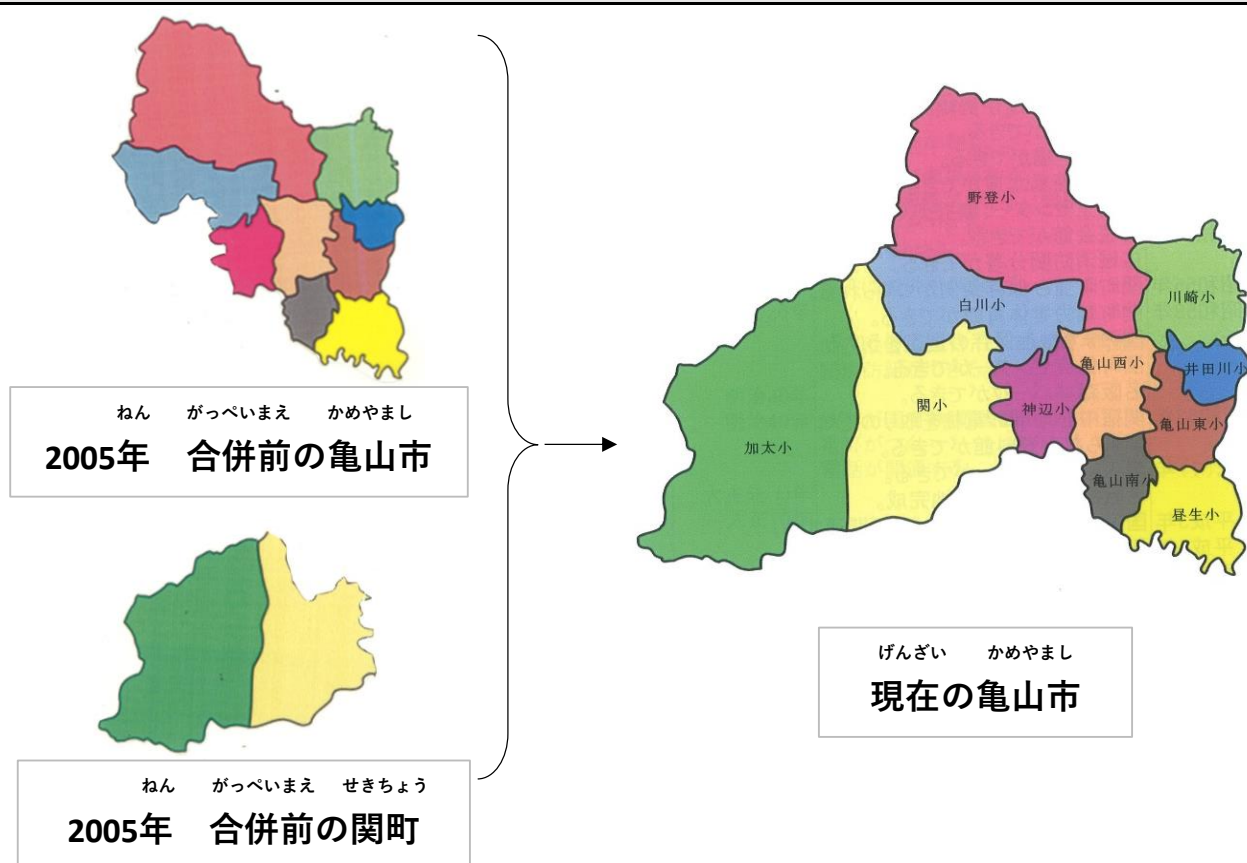
亀山市の誕生

時代	ぶんるい 分類	人物	校区	さんこうしりょう 参考資料など
げんだい 現代	れきし 歴史	かめやまし たんじょう 亀山市の誕生	しいきぜんたい 市域全体	合併による亀山市、関町の誕生

ことがら 事柄

いま ねん まえ いま かめやまし ない
今から150年ほど前の今の亀山市内は、たくさんの村に分かれていました。その
ご なんと がっぺい おお むら まち とく
後、何度も合併をくりかえして、しだいに大きな村や町となっていました。特
に、1954年（昭和29年）から4年ほどの間に、亀山町とそのまわりの村が合併して
かめやまし せきちよう むら がっぺい せきちよう たんじょう
亀山市に、関町とそのまわりの村が合併して関町が誕生しました。この亀山市と
せきちよう ねん へいせい ねん がっぺい げんざい かめやまし
関町が2005年（平成17年）に合併して、現在の亀山市となりました。

写真・地図



な か む ら し ん や
中村晋也

時代	分類	人物	校区	参考資料など
げんだい 現代	びじゅつこうげい 美術工芸	なかもらしんや 中村晋也	いだがわしょうがっこう 井田川小学校	新亀山市の名誉市民

ことがら
事柄

なかもらしんやし (1926年～) は、かわいちょうの生まれの彫刻家です。今の三重県立神戸高校、筑波大学で学ばれ、卒業後は、鹿児島市に移られて作品づくりに取り組みました。

「ミゼレーレ」シリーズや「釈迦十大弟子」などの人物像が代表作で、2007年(平成19年)に文化勲章を受章され、2009年(平成21年)12月17日に亀山市名誉市民となりました。

写真・地図



なかもらしんや し
中村晋也氏



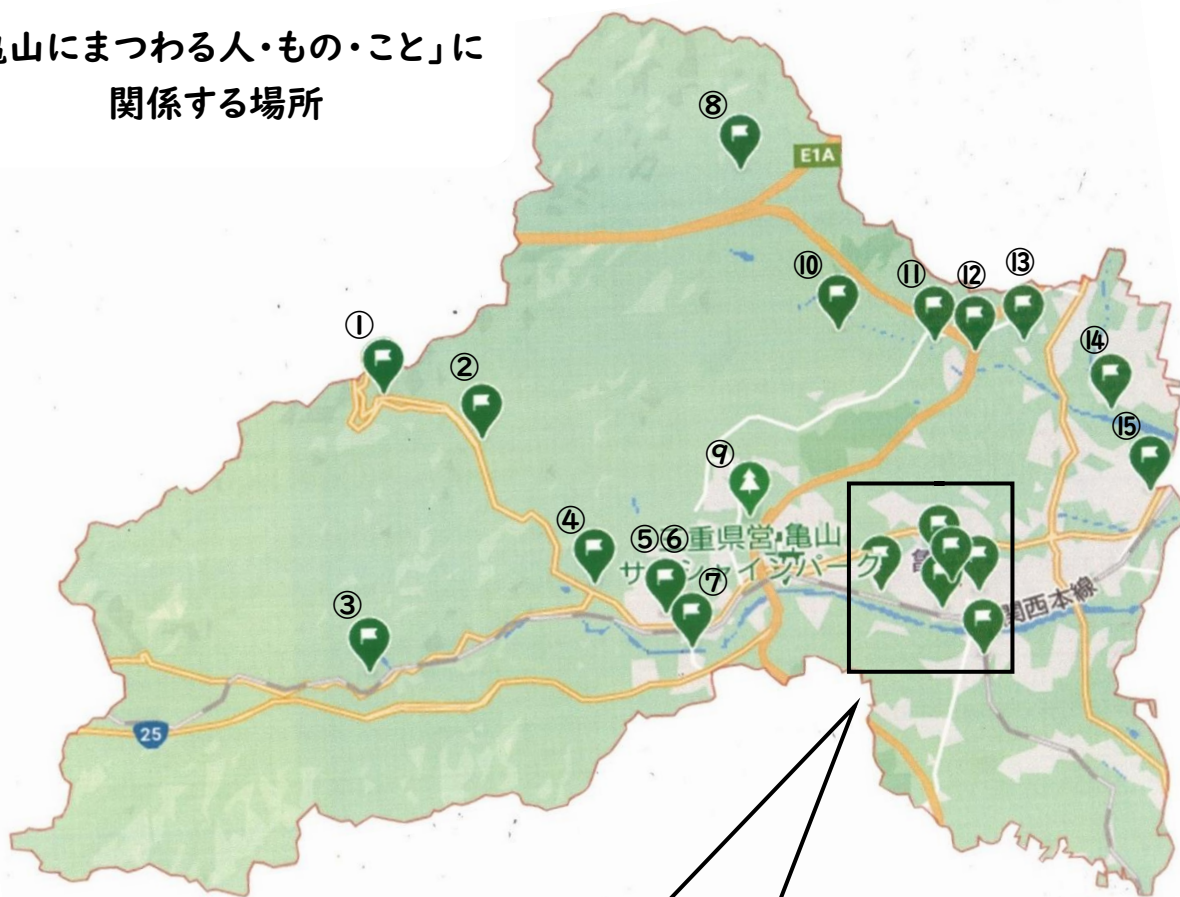
ぞう
「ブロンズ像」
さくひんめい
作品名「りんりん」と
サイズ 27×29×19cm



ぞう
「ブロンズ像」
さくひんめい たからもの
作品名「わたしの宝物」
サイズ 103×30×28cm
せつちばしよ かめやまし ふんかいかん げんかん
設置場所: 亀山市文化会館玄関ロビー

なかもらしんや し さくひん
中村晋也氏の作品

「亀山にまつわる人・もの・こと」に
関係する場所



Map data©2021 Google



Map data©2021 Google

- ① 岩屋観音
- ② 旧坂下尋常高等小学校
- ③ 鹿伏兔城跡
- ④ 鈴鹿関跡
- ⑤ 関宿
- ⑥ 関の山車会館
- ⑦ 勧進橋

- ⑧ 坂本の棚田
- ⑨ 太岡寺囃
- ⑩ 宗徳寺
- ⑪ 不動院
- ⑫ 網中遺跡周辺
- ⑬ 峯城跡
- ⑭ 能褒野王塚古墳

- ⑮ みどり町第四公園（古墳公園）
- ⑯ 忍山神社
- ⑰ 亀山公園
- ⑱ 亀山城 多門櫓
- ⑲ 本久寺
- ⑳ 法因寺
- ㉑ 中村公民館

亀山にまつわる人・もの・こと

令和3年 3月 印刷・発行

<編集・発行>

亀山市教育委員会 学校教育課

<協力>

亀山市歴史博物館



名前	
----	--